

組み立て設置説明書

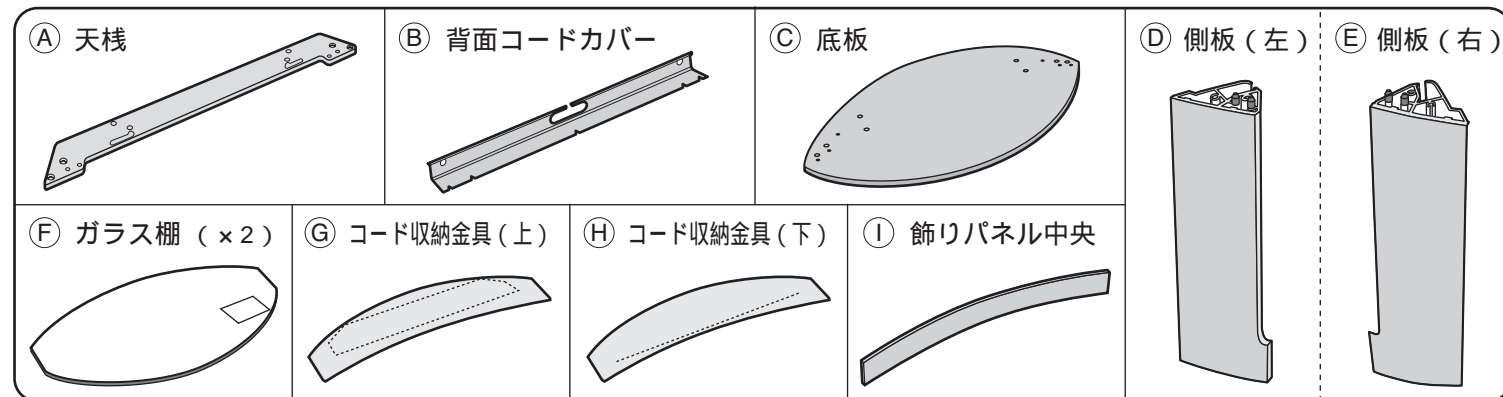
品番 TY-S50PX300
TY-S42PX300
TY-S37PX300

この組み立て設置説明書は、お客様が大切に保存してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に、この「組み立て設置説明書」、裏面の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

主要部品 組み立ての前に部品の確認を行ってください。



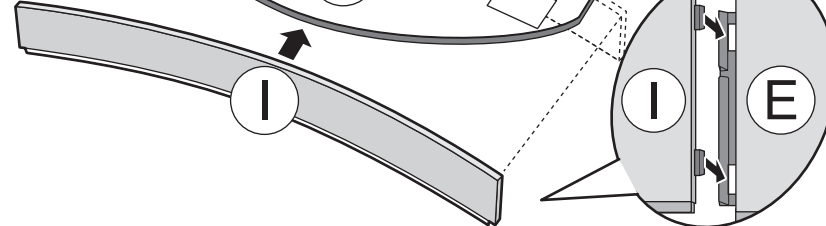
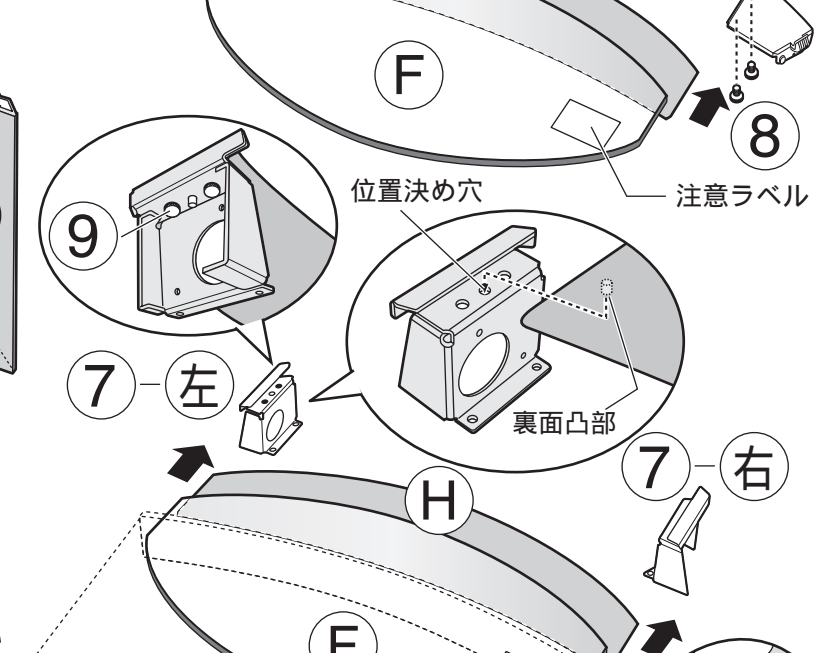
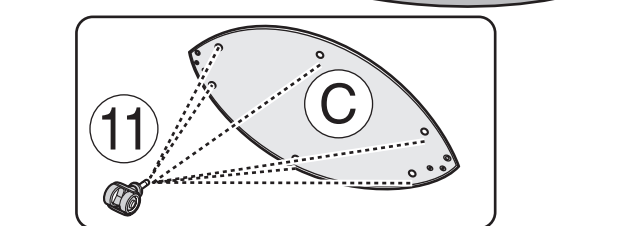
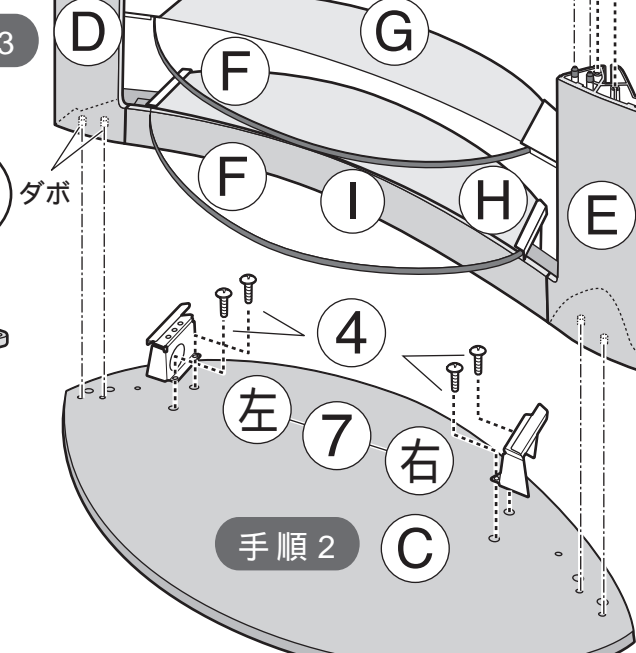
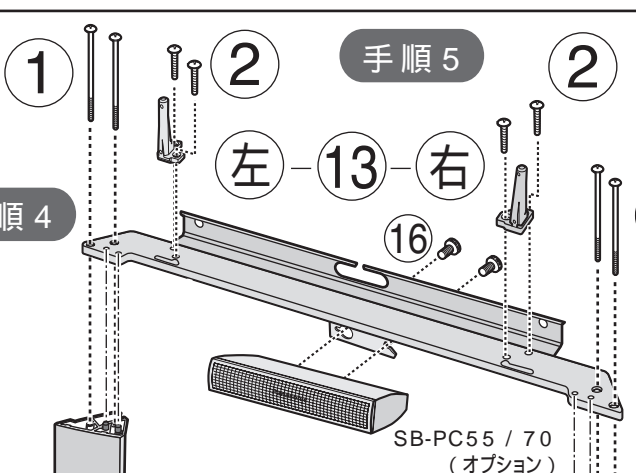
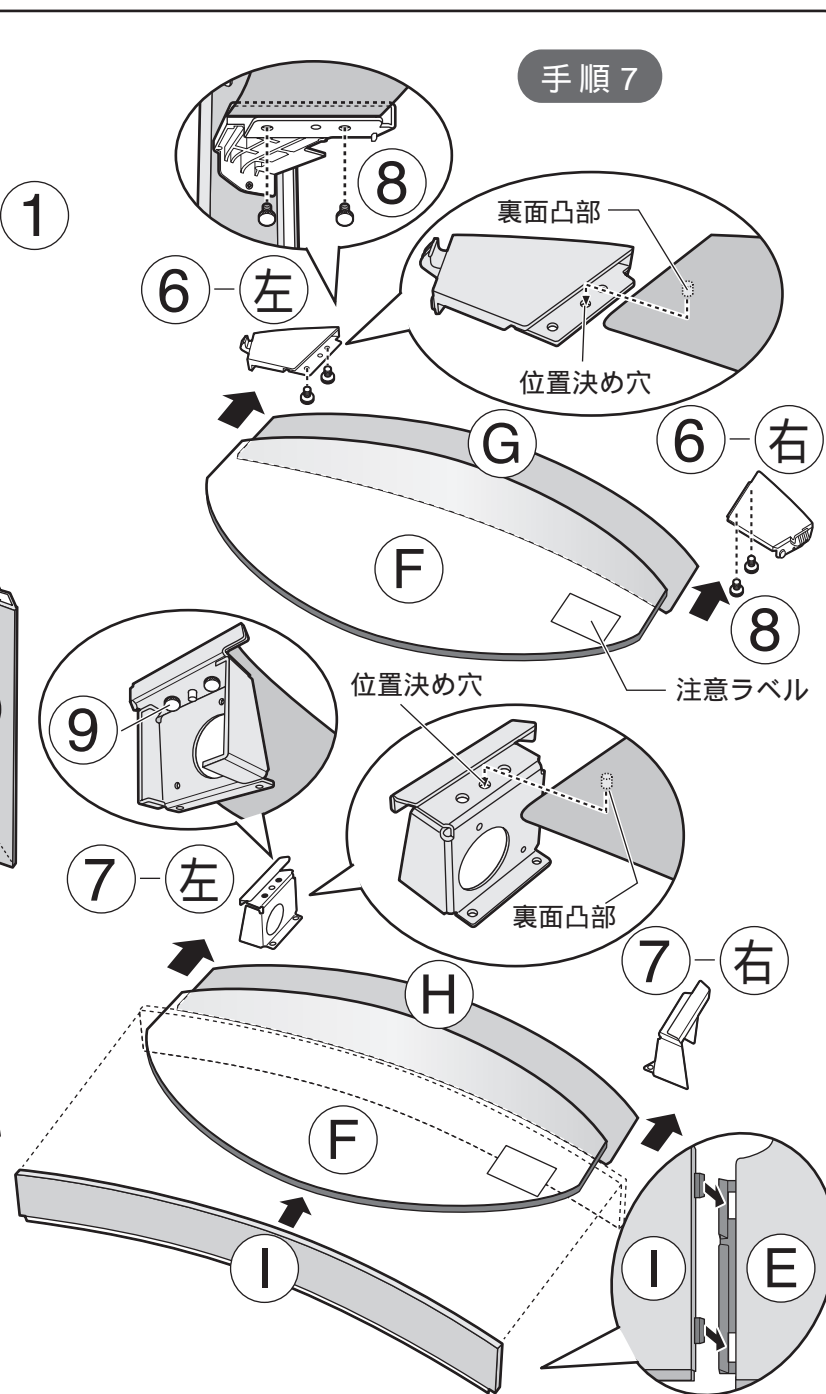
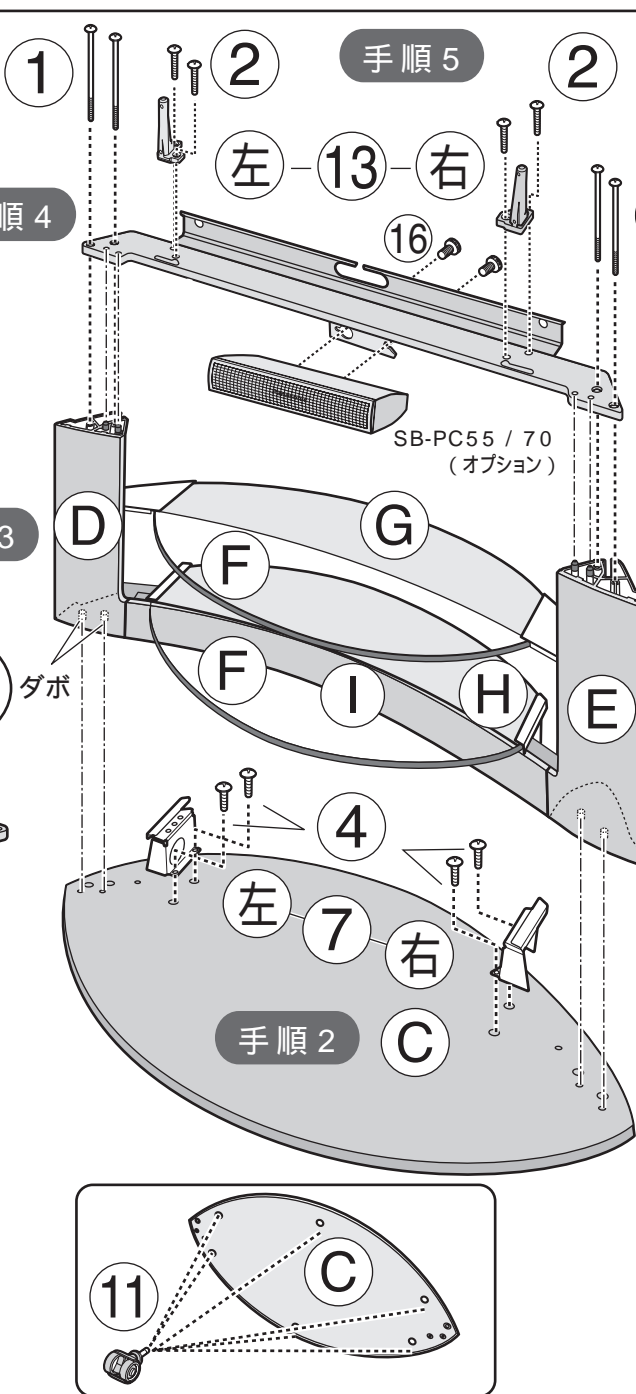
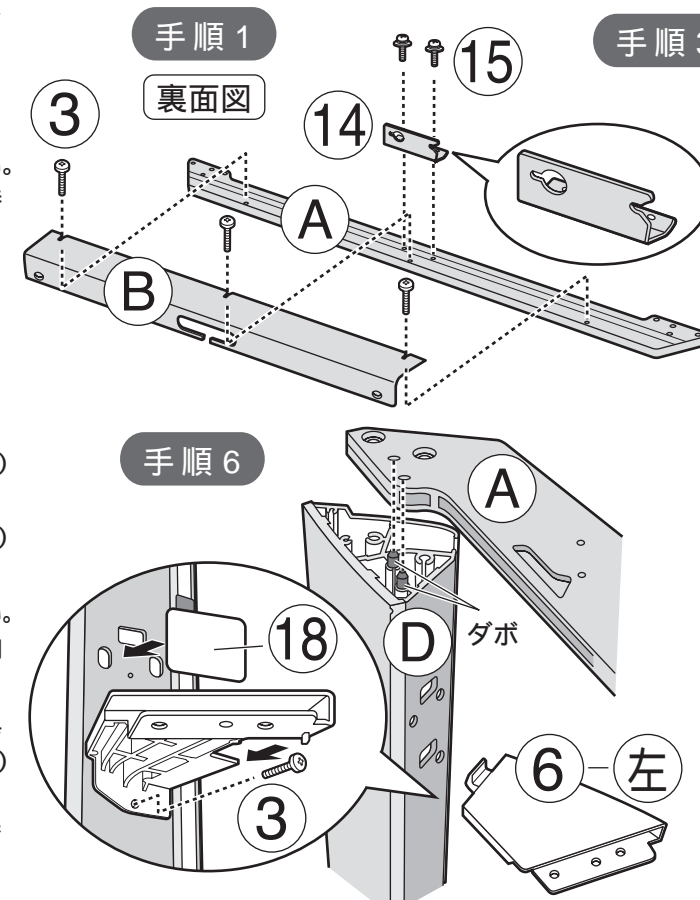
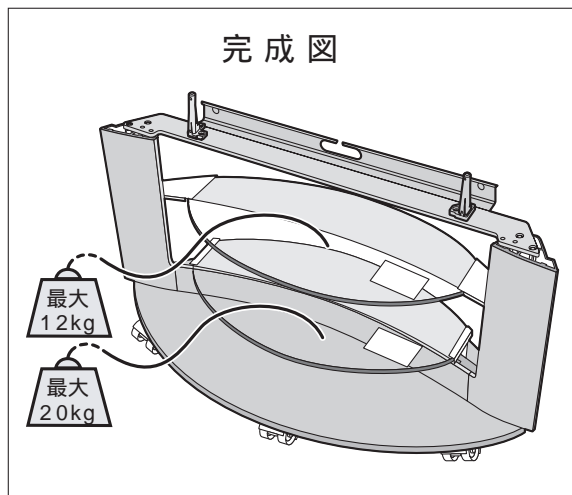
付属部品 組み立ての前に部品の確認を行ってください。

① 組み立て用ねじ (x4)	② スタンドポール用固定ねじ (x4)	③ ガラス棚支持金具(上)用固定ねじ(x2) 背面コードカバー用固定ねじ(x3) (黒)	④ ガラス棚支持金具(下)用固定ねじ (x4)
⑤ テレビ本体取り付け用ねじ (x4) (黒)	⑥ ガラス棚支持金具(上)(左右各1)	⑦ ガラス棚支持金具(下)(左右各1)	⑧ ガラス棚(上)固定用ねじ (x4)
⑨ ガラス棚(下)固定用ねじ (x4) ⑦に取り付けず	⑩ コードクランパー (x6)	⑪ キャスター(車) (x6)	⑫ キャスター座 (x4)
⑬ スタンドポール (左右各1) (左) (右)	⑭ スピーカー取り付け金具 (x1)	⑮ スピーカー取り付け金具用ねじ (x2)	⑯ スピーカー取り付け用ねじ (x2)
⑰ コードカバー(左右各1) (左) (右)	⑱ シール (x2)		

組み立て方法

組み立て手順(組み立て図参照)

- 手順1** 天棧(A)に背面コードカバー(B)を背面コードカバー用固定ねじ③(3本)で取り付けてください。(天棧裏面取り付け) センタースピーカー(オプション SB-PC55/70)を取り付ける場合は、スピーカー取り付け金具⑭をスピーカー取り付け金具用ねじ⑮(2本)で取り付けてください。
- 手順2** 底板(C)裏面にキャスター(車)⑪(6個)を差し込み、表面にガラス棚支持金具(下)⑦(左右各1個)をガラス棚支持金具(下)用固定ねじ④(4本)で取り付けてください。
- 手順3** 側板(左D右E)のダボを底板(C)のダボ穴に合わせて差し込んでください。
- 手順4** 天棧(A)のダボ穴を側板(左D右E)のダボに合わせて差し込み、組み立て用ねじ①(4本)で天棧(A)・側板(左D右E)・底板(C)をしっかりと取り付けてください。
- 手順5** 天棧(A)にスタンドポール⑬(左右各1個)をスタンドポール用固定ねじ②(4本)で、しっかりと取り付けてください。
- 手順6** ガラス棚支持金具(上)⑥(左右各1個)をガラス棚支持金具(上)用固定ねじ③(2本)で取り付けてください。取り付け位置は、2段階に調整できますので収納機器の高さに応じて取り付けてください。空いた方の取り付け穴はシール⑱(左右各1枚)を貼り付けてください。
- 手順7** ガラス棚・飾りパネル中央の取り付け
ガラス棚(上)固定用ねじ⑧(4本)は短いねじ、ガラス棚(下)固定用ねじ⑨(4本)は長いねじです。
① ガラス棚支持金具(下)⑦に取り付けてあるガラス棚(下)固定用ねじ⑨(4本)をゆるめてください。
② コード収納金具(上G下H)を平行に奥まで差し込んでください。
③ ガラス棚支持金具(上⑥下⑦)の位置決め穴にコード収納金具裏面凸部(左右)を合わせて、はめ込んでください。
④ ガラス棚(F)の注意ラベルを(右)手前にしコード収納金具と平行に奥まで差し込み、ガラス棚固定用ねじ(上⑧下⑨)で取り付けてください。
⑤ 飾りパネル中央①の左右の爪を側板左右の穴にはめ込んでください。(上下方向に注意)



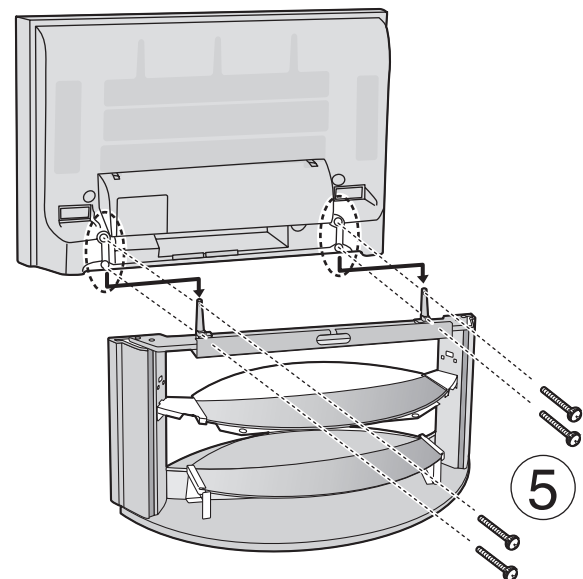
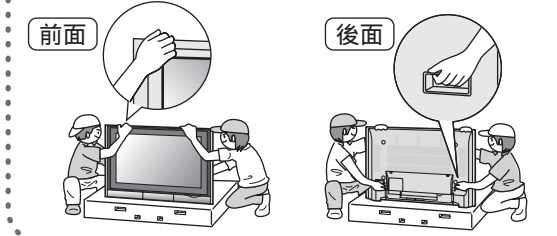
設置方法と設置後のお願い

1 テレビ本体の設置と固定方法

設置作業は指詰めや腰をいためないように注意してください。

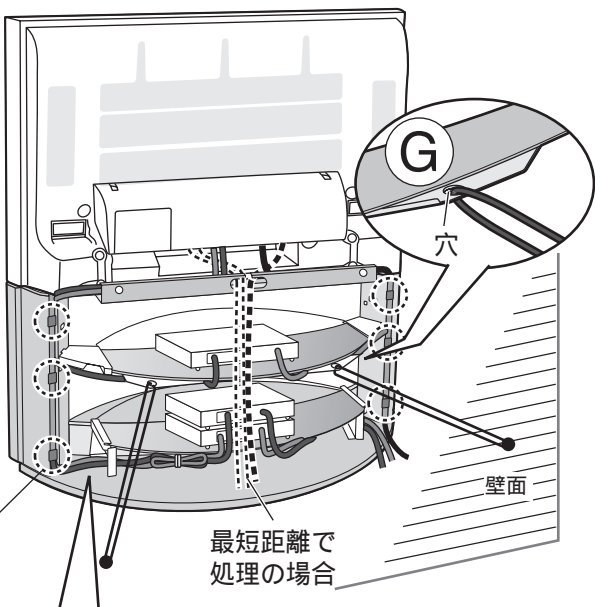
- ① テレビ本体を垂直に持ち上げテレビ台のスタンドポールに差し込んでください。
- ② テレビ本体取り付け用ねじ⑤(4本)でテレビ本体とテレビ台をしっかり固定してください。

イラストで示す後面左右の把手部分に手をかけて設置してください



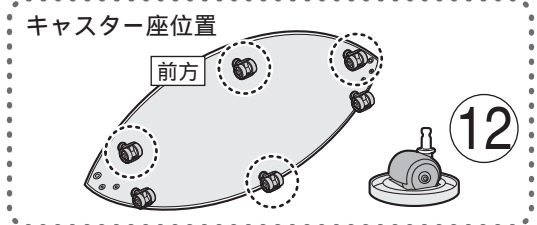
2 テレビ本体・収納機器の配線処理

- ① ガラス棚に収納機器(DVDレコーダー、VTR等)を載せてください。
録画機器は下段に設置してください。(上段に載せると映像に障害が出る場合があります。)
- ② 収納機器とテレビ本体の配線処理を行ってください。
- ③ 配線処理は側板(左右)の溝とガラス棚上段のコード収納金具およびガラス棚下段と底板とのスペースで行ってください。
- ④ コードクランプ⑩(6個)を使って各コードが溝からはみ出ないようにはめ込んでください。
- ⑤ 最後にコードカバー⑬(左右各1個)をはめ込んでください。



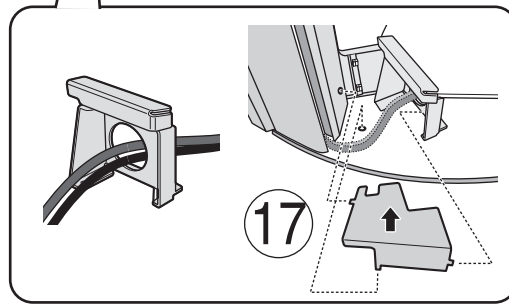
3 キャスター座の使い方

全ての作業の後でキャスター座⑫(4個)を敷いて固定してください。



4 転倒防止について

コード収納金具(上)⑥の穴(左右)に丈夫なひもや鎖など市販品を使って壁や柱など堅牢部にしっかりと固定してください。



取り扱い上のお願い

- 1. 直射日光に当たったり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形することがありますのでご注意ください。
- 2. お手入れについて
乾いた布でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。
なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはげたりしますので、使用しないでください。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
- 3. 粘着性のテープやシールをはらないでください。テレビ台表面を汚すことがあります。

イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

このように絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。この絵表示は、してはならない「禁止」内容です。この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

注意

カタログに記載されているテレビ以外には、使用しないでください

禁止
テレビ台に載せられる総質量(テレビ本体の質量+ガラス棚に載せる機器の質量)を越えて長期間使用されますと破損してけがの原因となることがあります。
ガラス棚上段は12kg、下段は20kgを越える機器を載せないでください。

ガラスを傷つけたり、衝撃を与えないでください

禁止
ガラスは強化ガラスです。使い方を誤ると割れる恐れがあり、けがの原因となることがあります。鋭利なものや、尖ったものなどで傷をつけないでください。
強化処理をしたガラスは、傷が入った状態で長期間ご使用になりますと、傷が進行し自然に破損することがあります。
傷が入った場合は、販売店に相談して、新しいガラスと取り替えてください。

テレビ台に乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください

禁止
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。(特に小さなお子様にご注意ください。)



万一、テレビ台やガラスに変形・ひび割れ・割れが起こった場合は、使用しないでください

禁止
そのまま使用すると倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。すぐに販売店へご連絡ください。

キャスター(車)には注油しないでください

禁止
キャスター(車)のひび割れ・破損の原因となり、倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

湿度の高い場所では使用しないでください

禁止
長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください。また、裏板や仕切り板(補強板)は確実に取り付けてください

指示
不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。
機種によっては、裏板や仕切り板(補強板)のない台もあります。

水平で安定した所に据えつけてください

指示
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。
キャスター(車)を使用される場合は、全てのキャスターを確実に取り付け、キャスター座で止めてください。
不安定な場所ではキャスターをはずしてください。(畳や毛足の長いじゅうたんなど)

移動させるときは、キャスター座を取り除いてから、移動させてください

指示
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

テレビは転倒防止の処置をしてください

指示
地震やお子様がよく登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

テレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください

指示
けがの原因となることがあります。
指に注意

松下電器産業株式会社
映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号

—パナソニックお客様相談センター—
電話 フリーダイヤル ☎ 0120-878-365
FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236
365日/受付9時~20時